



★取材日は最初の流しから入れ食いモード



▲ググンググと力強い引きを楽しめる
▼当日のトップは39尾



冬の人気魚イシモチ 良型主体に浅場で好調

東京湾奥金沢漁港出船

撮影●平林潔

▶手返しよく釣れば自然と数もびていく



▲午前船のライトアジやシロギスから午後イシモチへと乗り継ぐ人も多い



▶魚が弱らないうちに血抜きを施し、水氷を張ったクーラーで冷やして持ち帰ろう



▲船宿と乗船場が近いので荷物運びが楽らく



▲エサはアオイソメの1匹付け



▲良型シロギスも
▶当日は南本牧沖の水深23メートル付近を流した



イシモチも手堅い釣り物の代表格。釣り時間が2時間半ほどのとても手軽な午後イシモチ乗合で出船している金沢漁港の進丸でも、25〜30センチ級主体にトップ30尾前後と安定した釣果を上げている。

目下の釣り場は南本牧沖の水深20メートル前後。イシモチ釣りとしては比較的浅いため、食いがいいときは船下を狙い、船下でアタリが遠いときはチヨイ投げで広く探ることもできる。

同船は午前シロギスから午後イシモチに乗り継ぐ人も多いため使用オモリをキスと同じ20号で統一しており、キヤストもしやすいシロギス用のスピニングタックルがあれば存分に楽しめるのだ。

(詳細は58ページ参照)

●東京湾奥金沢漁港・進丸
近藤 博信船長

